

2007 年度

科目名 文化財特殊講義Ⅱ（歴史・民俗）A	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者 坪井 恒彦
授業テーマ 遺跡発掘から解き明かされる記紀・万葉集・風土記の世界（神話・伝承の時代）。		
授業の概要と目標 古事記や日本書紀、万葉集やいくつかの国の風土記に描かれる様々な神話・説話・伝承の中には、重大な歴史的事実の断片が埋め込まれている可能性が明らかになってきています。とくに、近年の考古学的な遺跡発掘による多彩な調査成果は、この方面における新たな展開を次々にもたらしています。従来、わずかな限られた文字資料だけで実態のつかみ得なかった古代史の知られざる側面を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。		
評価方法 出席状況と授業中の発表、前期末と後期末の計2回のレポートで評価します。		
テキスト 岩波文庫版『日本書紀1』	著者	出版社 岩波書店
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 「国生み神話」に秘められた倭国の国家観 2. 同上（課題と考察） 3. 「黄泉の国」に見る横穴式石室の葬送儀礼と祭祀 4. 同上（課題と考察） 5. 「スサノオの草薙の剣」と弥生時代の青銅器群の集積 6. 同上（課題と考察） 7. 「葦原の中つ国」の平定と「倭国大乱」の実像 8. 同上（課題と考察） 9. 「オオクニヌシの国譲り」と古代出雲の幽界の宮居 10. 同上（課題と考察） 11. 「イハレビコの東征」から見る初期ヤマト王権の姿 12. 同上（課題と考察） 13. 「ミマキイリヒコの治世」と陶邑の勢力 14. 同上（課題と考察） 15. 時間内レポート		